



子供たちの希望をつなぐ場所

ソインタハウスの活動を紹介

震災後、仮設住宅入居や環境の変化などにより、子供たちの勉強する場所が少なくなってしまうとき、子供たちが安心して勉強ができる場所「山田町ソインタハウス」がオープン。本号では、ソインタハウスのこれまでの活動を紹介します。

考え、自立する心が養われています。また、席を譲り合うなど勉強ができない人がいないよう、互いに気を配ったり、上級生が下級生に勉強を教えたりなど、人を思いやる気持ちが生え、お互いが成長できる場となっています。

みんなの温かい支援で成り立つ

ソインタハウスが開所する前の建物は、津波の被害を受けて泥などが床にたまり、勉強などできる状態ではありませんでした。そのとき、町民と東洋大学の学生たちがボランティアで床掃除や壁のペンキ塗りなどに奮闘。さらに大学生らは、夏休などの長期休業の時には、子供たちの学習を支援するためローテーションを組んでソインタハウスに訪れています。このようにソインタハウスは、企業からの教材や食材など外部からの物質的な支援だけではなく、地域の方々の学習支援や安心できる環境づくりなど、地域の中からの支援のエネルギーが生まれています。

「山田町ソインタハウス」は、特定非営利活動法人こども福祉研究所の森田明美理事長が、長崎地区に設立。世界67カ国で女性たちの社会参加の実現へ向けて活動する団体「国際ソインタ」から震災への支援をしたいとの申し入れを受け、東洋大学教授でもある森田理事長が「お金を届けるだけではなく、より日常的に子供たちに寄り添った活動を行うことが被災地の子供たちの希望につながる」と考え、昨年9月に町民から協力者を募り活

ソインタハウスって



動を始めました。

ソインタハウスの利用は全て無料です。主として中学生が学習できる約30畳の自習室を建物2階に設けており、教育関連企業などが中学生が自習で使う本や教材などの支援をしてくれています。豊富な種類の教材がそろっているため、下の学年の教材を復習として使ったり、次のステップとして難しい問題に挑戦んだり、自分に合った学習を行うことができます。

また、1階では手作りおやつ の提供も行っています。「ソインタハウス」に勤めている職員には栄養士として働いていた方などもいて、食品製造業者などから支援で提供されている食パンや食材を使い、子供たちの話の聞き役になりながら栄養のあるおいしいサンドイッチを工夫して作ってくれています。また、

自分たちで作る勉強しやすい環境



ソインタハウスには、「子ども委員会」があります。

昨年12月に、このハウスの自習室と手作りおやつを提供するスペースの愛称を「おらーほ」（自分たちの家と呼ぶこと）に決めました。基本的な管理などは、大人が責任を持ち、情報は子供たちに全て公開して、子供たちがソインタハウスの運営に参加していくことを基本としています。子供たち自身で勉強がしやすい環境をどのように作ればいいのか

現在、うまく勉強する方法が分からない、勉強に集中できない学習の悩みがある人など、ソインタハウスをお気軽にご利用ください。



学生たちが勉強のアドバイスをを行います



夜は保護者の迎えを原則として、帰る時間を記入します



「子ども委員会」でルールを決めています

ゾンタハウス開設時間

みなさんのご利用をお待ちしています。

平日 午後2時～午後8時

土曜日 午後2時～午後7時

※日曜日、祝日は休み

◆問い合わせ NPOこども福祉研究所山田支部
(☎0193-77-3240) へどうぞ。

今までより仲間意識が強くなった

平日はほぼ毎日来て、勉強をしています。どうしても解けない問題があったら、友達に教えてもらったり、逆に友達が解けない問題を教えたりと、ゾンタハウスに通ってから、仲間意識がとても強くなりました。ゾンタハウスは、これからも必要な施設だと思います。



佐藤 駿くん
(山田中3年)

自分のやりたい勉強ができる



足垣 匡洋くん
(同3年)

ゾンタハウスは、すごく便利なところ。個人の目標は違いますが、一緒に勉強するライバルがいるので、負けないようにすごく集中して勉強に取り組むことができます。教材もたくさん種類をいただいたので、自分のやりたい問題に挑戦できるのもいいです。

いい大人に出会える場所、 希望を与え続けられる場所へ

ゾンタハウスは、子供たちがいい大人に出会える場所です。何よりも子供たちに伝えたいことは、「日本中、世界中には、こんなにいい大人たち、君たちを支え続けてくれる大人たちがいっぱいいるのだから、希望を失わないでほしい」ということです。このメッセージを子供たちにどれだけ継続的に伝え続けられるかが課題ともいえます。地域の大人たちや、東洋大学の学生たちと触れ合うことで中学生や高校生たちは大きく成長しています。生きることを支えるのは「希望」です。大人たちが子供たちに「希望」を与え続けられるゾンタハウスでありたいです。



NPO法人こども福祉研究所
理事長・東洋大学教授

森田 明美さん